

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公表番号】特表2008-500450(P2008-500450A)
 【公表日】平成20年1月10日(2008.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報2008-001
 【出願番号】特願2007-527572(P2007-527572)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 23/08 (2006.01)
 C 0 8 L 23/10 (2006.01)
 B 3 2 B 27/32 (2006.01)
 B 6 5 D 65/40 (2006.01)
 B 6 5 D 77/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/08
 C 0 8 L 23/10
 B 3 2 B 27/32 C
 B 6 5 D 65/40 D
 B 6 5 D 77/20 K

【手続補正書】
 【提出日】平成20年5月22日(2008.5.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

エチレンコポリマーおよびプロピレンポリマーを含む、熱可塑性ポリマーブレンドを含むまたはそれらから製造される組成物であって、前記エチレンコポリマーは、(1)エチレン、および、アルキルアクリレート、アクリル酸、メタクリル酸、またはこれらの2つ以上の組み合わせ、および、任意に一酸化炭素またはエポキシ含有モノマーから誘導される繰り返し単位、(2)エチレン、および、第2の - オレフィンから誘導される繰り返し単位を含むメタロセン触媒エチレンポリマー、または(3)(1)および(2)の組み合わせを含み、前記プロピレンポリマーは、プロピレン、および、任意に、エチレン、ブテン、またはこれらの組み合わせを含む - オレフィンであるモノマーから誘導される繰り返し単位を含む、組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に特徴付けられる組成物を含むまたはそれから製造されるシーラントまたはシール層を含む、多層フィルム。

【請求項 3】

包装容器が、包装容器内に剥離性シールを含み、前記フィルムが請求項 2 に特徴付けられるものである、多層フィルムを含むまたはそれから製造される包装容器。

【請求項 4】

シーラント含有フィルムを製造するため、ポリマーおよびシーラントを共押出しし、シーラント層を含有する多層フィルムを製造する工程；任意に、前記シーラント含有フィルムを配向ポリエステルまたは配向ポリプロピレンの第2のフィルムに貼付し、第2の多層フィルムを製造する工程を含み、前記多層フィルムまたは前記第2の多層フィルムが請求

項 1 に特徴付けられる組成物を含み、前記フィルムが請求項 2 に特徴付けられるものである、方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0084】

剥離力 - フィルム D

	Bosch 水平シール設定温度					
シールされた剥離層	90° C	95° C	100° C	105° C	110° C	115° C
底部 ¹	0.10	0.13	0.15	0.42	2.45	2.91
上部 ¹	0.10	0.10	0.15	3.23	1.47	7.64
中央底部 ²	1.96	2.89	3.89	4.17	4.92	5.17
中央上部 ²	1.66	2.32	4.59	5.44	6.16	6.53

¹ N / 15 mm

² N / 6 mm

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1. エチレンコポリマーおよびプロピレンポリマーを含む、熱可塑性ポリマーブレンドを含むまたはそれらから製造される組成物であって、前記エチレンコポリマーは、(1) エチレン、および、アルキルアクリレート、アクリル酸、メタクリル酸、またはこれらの 2 つ以上の組み合わせ、および、任意に一酸化炭素またはエポキシ含有モノマーから誘導される繰り返し単位、(2) エチレン、および、第 2 の - オレフィンから誘導される繰り返し単位を含むメタロセン触媒エチレンポリマー、または(3) (1) および(2) の組み合わせを含み、前記プロピレンポリマーは、プロピレン、および、任意に、エチレン、ブテン、またはこれらの組み合わせを含む - オレフィンであるモノマーから誘導される繰り返し単位を含む、組成物。
2. 前記エチレンコポリマーが、前記組成物中に約 70 重量% ~ 約 95 重量%、少なくとも約 85 重量%、または約 90 重量% ~ 約 95 重量% 存在し、前記プロピレンポリマーが前記組成物中に約 5 重量% ~ 約 30 重量% 存在する、上記 1 に記載の組成物。
3. 前記組成物が、比較的低い温度範囲内にある第 1 の温度で加熱されるとき剥離性シールを形成し；前記組成物が、比較的高い温度範囲内にある第 2 の温度で加熱されるとき永久シールまたはロックアップシールを形成し；前記比較的低い温度範囲が少なくとも約 15 にわたる、上記 1 または 2 に記載の組成物。
4. 前記エチレンコポリマーが、エチレン、および、メタクリル酸、アクリル酸、アクリル酸メチル、アクリル酸エチル、アクリル酸ブチル、またはこれらの 2 つ以上の組み合わせであるモノマーから誘導される繰り返し単位を含み；前記プロピレンポリマーのメルトフローレートが好ましくは 2 である、上記 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。
5. 前記モノマーが、アクリル酸メチル、アクリル酸ブチル、メタクリル酸、アクリル酸ブチルとメタクリル酸の両方、またはこれらの 2 つ以上の組み合わせを含む、上記 5 に記載の組成物。
6. 上記 1 ~ 5 のいずれか一項に特徴付けられる組成物を含むまたはそれらから製造されるシーラントまたはシール層を含む、多層フィルム。
7. 前記フィルムが、更に、配向ポリエステルまたは配向ポリプロピレンを含むまたはそれらから製造される、上記 6 に記載のフィルム。
8. 包装容器が、包装容器内に剥離性シールを含み、前記フィルムが上記 6 または 7 に特徴付けられるものである、多層フィルムを含むまたはそれらから製造される包装容器。
9. シーラント含有フィルムを製造するため、ポリマーおよびシーラントを共押出しし、

シーラント層を含有する多層フィルムを製造する工程；任意に、前記シーラント含有フィルムを配向ポリエステルまたは配向ポリプロピレンの第2のフィルムに貼付し、第2の多層フィルムを製造する工程を含み、前記多層フィルムまたは前記第2の多層フィルムが上記1～5のいずれか一項に特徴付けられる組成物を含み、前記フィルムが上記6または7に特徴付けられるものである、方法。

10. (1) 開口部を有する包装容器を製造するため、前記多層フィルムまたは前記第2の多層フィルムを折り畳み、前記フィルムの二辺の縁部をシールし、それによって、シールを作り出し、開口部を有する包装容器のシールされた周辺を画定する工程、または、開口部を有する包装容器を製造するため、前記多層フィルムまたは前記第2の多層フィルムを2枚重ね合わせ、前記多層フィルムまたは前記第2の多層フィルムの三辺の縁部をシールし、それによってシールを作り出し、開口部を有する包装容器のシールされた周辺を画定する工程、または、開口部を有する包装容器を製造するため、前記多層フィルムまたは前記第2の多層フィルムを別のフィルムと重ね合わせ、前記多層フィルムまたは前記第2の多層フィルムの三辺の縁部をシールし、それによってシールを作り出し、開口部を有する包装容器のシールされた周辺を画定する工程；および(2) 任意に、前記包装容器の周辺の内側にある前記フィルムの1つ以上の部分をシールし、それによって、境界を形成し且つ包装容器を別々の区画に分割する1つ以上の剥離性シールを作り出す工程；(3) 1種類以上の成分を1つ以上の区画に閉じ込める工程であって、前記成分が固体、流体、または気体を含む工程；および(4) 前記開口部をシールする工程を更に含む上記9に記載の方法。